

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—15618

⑬ Int. Cl.³
A 41 D 21/00

識別記号

庁内整理番号
6849—3B

⑭ 公開 昭和58年(1983)1月31日

審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑮ イヤーマツフル

⑯ 実 願 昭56—108442

⑰ 出 願 昭56(1981)7月20日

⑱ 考 案 者 安藤恒雄

大阪市生野区田島6丁目5番6

号

⑲ 出 願 人 安藤恒雄

大阪市生野区田島6丁目5番6

号

⑳ 代 理 人 弁護士 大江篤彌

㉑ 実用新案登録請求の範囲

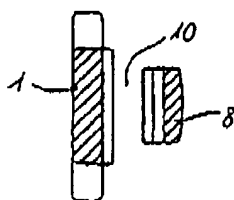
- (1) 着用品の頭頂から両耳の上部まで通ずる弧状の弾力性を有するヘッドアームと、該ヘッドアーム下端近傍に回転自在に装着した回転アームと、該回転アームに装着したイヤーマツフル本体枠と、該本体枠に被覆した布片等より成り、該回転アームを略々垂直位置及び斜外側に回転した位置に保持する機構を備えたことを特徴とするイヤーマツフル。
- (2) 該ヘッドアームとこれに固着した挟持片との間に形成した保持溝に該回転アーム基端部を着脱自在に嵌合した実用新案登録請求の範囲第1項記載のイヤーマツフル。
- (3) 該イヤーマツフル本体枠を該回転アームに沿って摺動可能に嵌装した実用新案登録請求の範囲第1項記載のイヤーマツフル。

図面の簡単な説明

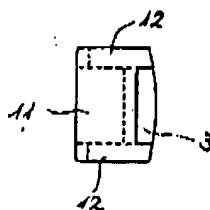
第1図は従来のイヤーマツフルの正面図、第2図は本考案のイヤーマツフルの正面図、第3図は本考案のイヤーマツフル本体の分解斜視図、第4図は本考案のイヤーマツフルのヘッドアーム及び回転アームの正面図、第5図は同側面図、第6図は本考案のヘッドアームの一部拡大正面図、第7図は同右側面図、第8図は同A—A断面図、第9図は本考案の回転アームの拡大正面図、第10図は同左側面図、第11図は同平面図、第12図はヘッドアームと回転アームの嵌合回転状態を示す一部断面図である。

符号の説明、1……ヘッドアーム、2……イヤーマツフル、3……回転アーム、4……リング、5……布片、6……本体枠、7……摺動孔、8……挟持片、9……回転アーム保持溝、10……間隙、11……連結片、12……立枠片、13……通孔、14……突出角部、15……突起部。

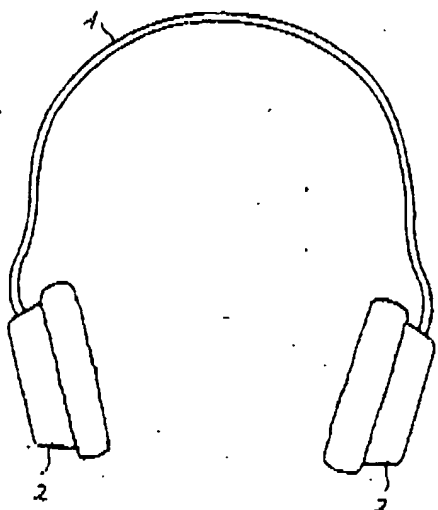
第8図



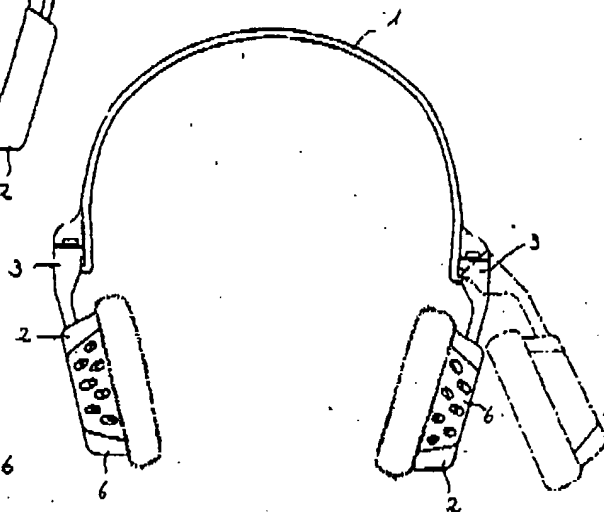
第11図



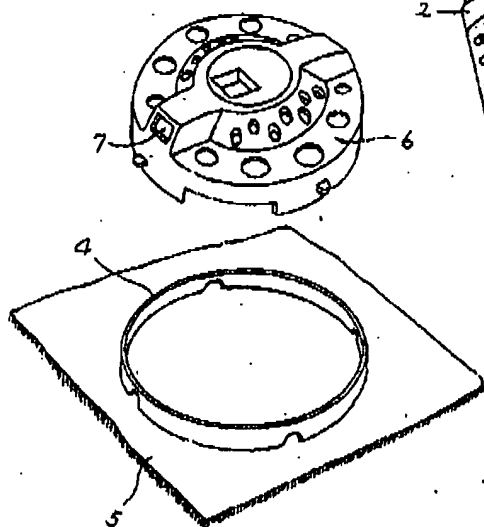
第1図



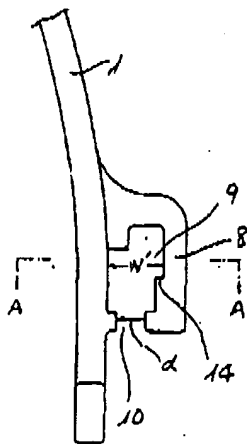
第2図



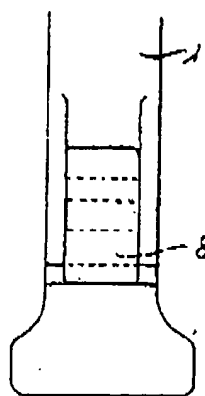
第3図



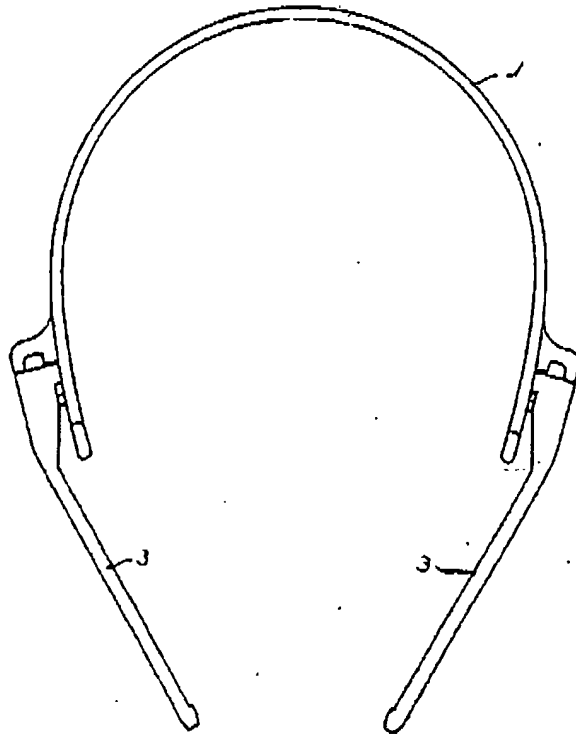
第6図



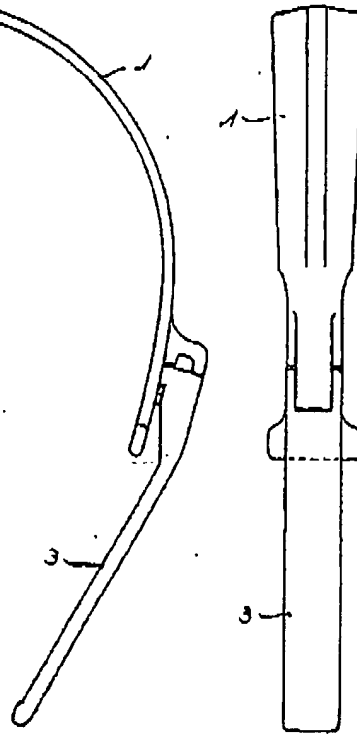
第7図



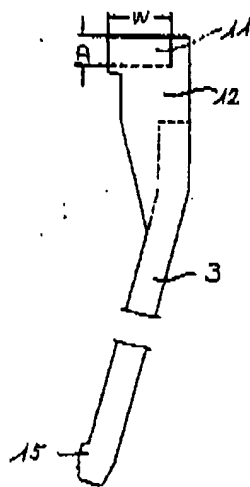
第4図



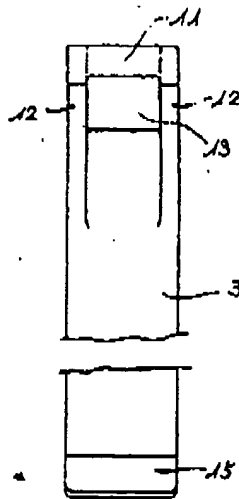
第5図



第9図



第10図



第 12 図

